

令和6年度
秋号

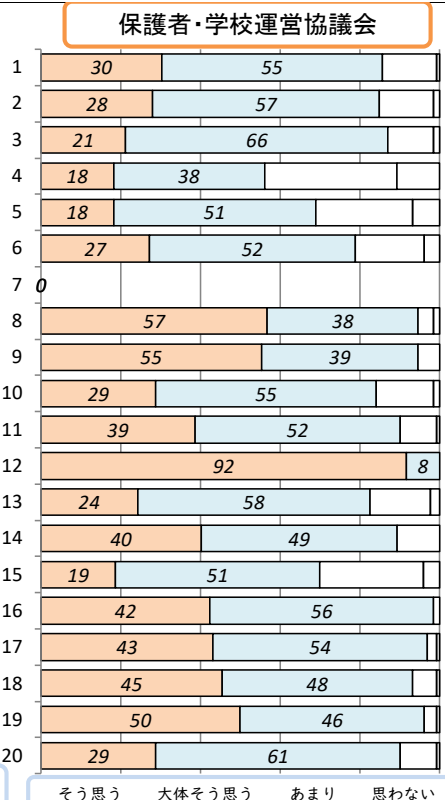
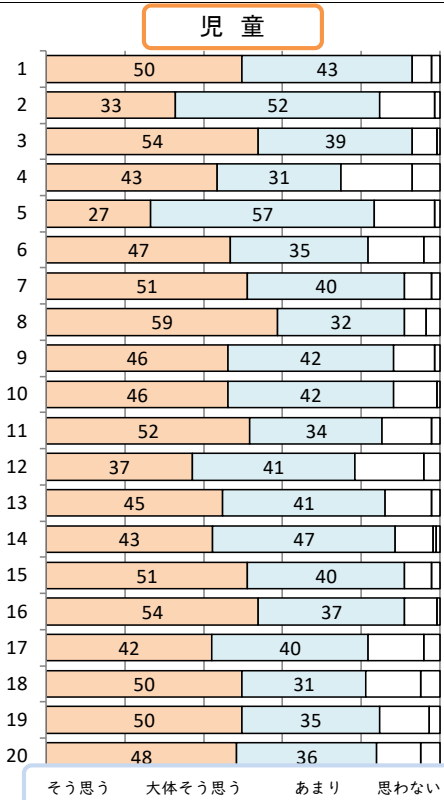
愛らぶ友～境谷だより～



令和6年11月25日
京都市立境谷小学校
校長 山野 真里子

○目指す子ども像（洛西中学校ブロック） 重点目標（児童生徒の共通する課題より）	『夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成』 (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する～つながる・深める・伝え合う～ (2) 児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。
○境谷小学校めざす子ども像	『素直な心で 人とつながり より良い未来を切り拓く 境谷の子』 ～自愛と友愛に満ちた子の育成～ 1. 粘り強く挑戦する子 2. 自分も友だちも大切にする子 3. いのち・健康を守る子

質問項目	
確かな学力	① 学校の勉強はわかりますか。
	② 自分の意見や考えを話すことができていますか。
	③ 人の意見や考えをしっかりときくことができていますか。
	④ 進んで本を読むことができていますか。
	⑤ 毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか。
	⑥ 毎日、家庭学習をすることができていますか。
	⑦ 授業や学校生活の中でがんばったことを、先生はほめてくれますか。(児童のみ)
豊かな心・健やかな体	⑧ 学校に楽しくかようことができていますか。
	⑨ 学校では、先生や友だちから大切にされていると思いますか。
	⑩ 地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか。
	⑪ 早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか。
	⑫ 自分にはよいところがあると思いますか。
	⑬ 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。
	⑭ 学校のきまりや約束を守ることができていますか。
学校・家庭・地域の連携	⑮ 自分から進んでそうじや係活動ができていますか（高：掃除や係活動、委員会活動ができていますか）
	⑯ 学校からのおたよりをお家の人に見せていますか。
	⑰ わからないことや、困っていることを先生に相談することができていますか。
	⑱ お家の人に、学校のできごとを話していますか。
	⑲ お家の人や地域の人からほめられることがありますか。
	⑳ 地域の人との交流（生活科や総合的な学習の時間のゲストティーチャー・少年補導の行事）やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか。



	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない	
	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	50	30	43	55	5	14	2	1
②	33	28	52	57	14	14	1	2
③	54	21	39	66	6	11	1	2
④	43	18	31	38	18	33	7	11
⑤	27	18	57	51	15	24	1	7
⑥	47	27	35	52	14	17	4	4
⑦	51		40		7		2	
⑧	59	57	32	38	6	4	3	2
⑨	46	55	42	39	10	5	1	0
⑩	46	29	42	55	11	14	1	2
⑪	52	39	34	52	13	9	2	1
⑫	37	92	41	8	17	0	4	0
⑬	45	24	41	58	12	15	2	2
⑭	43	40	47	49	10	11	1	0
⑮	51	19	40	51	7	26	2	4
⑯	54	42	37	56	8	2	1	0
⑰	42	43	40	54	14	2	4	1
⑱	50	45	31	48	14	6	5	1
⑲	50	50	35	46	13	3	3	1
⑳	48	29	36	61	11	9	5	1

**学校運営協議会より
～よりよい愛を築くために～**

○学校評価の結果は、これまでと比較すると良好になってきている
○野菜作りや竹灯籠づくりなど、経験・体験活動が充実してきている
○対人関係におけるトラブルが減少してきている

●あいさつをする子どもが減少してきている傾向にある
●情報モラルに関する事案が増加してきている
●子どもたちが自ら課題を解決しようとする姿に課題がある

♡普段経験や体験することができない
幼小連携のつながりをもっていく
♡目に見える学力（テスト・宿題・ノートなど）以外についても、家庭と連携を図っていけるようにする
♡学校や地域での行事については、積極的に発信していけるようにする

**確かな学力
～目指す子ども像に向けた授業改善～**

・子どもと大人の意識の差がある（以下の項目より）

①「学校の勉強はわかりますか。」
③「人の意見や考えをしっかりときくことができていますか。」
④「進んで本を読むことができていますか。」
⑥「毎日、家庭学習をすることができていますか。」

これらは次のような実態や傾向が影響しているのではないかと考えた
○授業中「わからない」と言える子が増加している
○家庭学習において保護者にみてもらう環境は近年に比べ、上昇し、教育に対する意識が強化されている

●自分の思いは話せても、相手の思いを比較したり関係づけたりして聞くことが難しい実態が見られる
●自分のための学習と捉えにくい傾向がある
●忘れ物をすると困るという感覚が希薄である

以上のことから、
♡学校教育目標にある目指す子ども像を明確にする
♡子どもが主体的に学ぶことができる授業改善を図る
♡子どもの言動や行動に対して価値づけて褒める
♡ということを重視した教育活動を図りたいと考える

**豊かな心・健やかな体
～Family 担任制のよさを生かした児童理解～**

・自己肯定感や規範意識の低さがある（以下の項目より）

②「自分にはよいところがあると思いますか。」
③「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。」
④「学校のきまりや約束を守ることができていますか。」

これらは次のような実態や傾向が影響しているのではないかと考えた
○大人（学校・家庭・地域）は、子どものいいところをみつけることができています
○大人（学校・家庭・地域）に、子どものいいところが伝わっている

●心の見えないモヤモヤを見取ることが難しくなっている
●児童の自己肯定感や自己有用感を高める声かけが十分にできていない

○そうじや係活動、委員会活動において、自分に決められた仕事を最後までやりきる姿が見られる
●決められたことはできるが、それ以外のことは進んで行うことが難しい

以上のことから、
♡多角的、多面的な児童理解を図る
♡ねらいのある活動と活動の見直しを行う
♡このことを意識して本校のFamily担任制のよさを生かした児童理解を図りたいと考える

**学校・家庭・地域の連携
～多様化する社会における学校コミュニケーション～**

・子どもと大人の認識のずれが生じている（以下の項目より）

⑰「わからないことや、困っていることを先生に相談することができていますか。」
⑱「お家の人に、学校のできごとを話していますか。」
⑲「お家の人や地域の人からほめられることがありますか。」

・地域の一員であることの自覚をもちにくい（以下の項目より）

⑳「地域の人との交流（生活科や総合的な学習の時間のゲストティーチャー・少年補導の行事）やゲストティーチャーとの交流、PTA 行事を楽しみにしていますか。」

○学校と家庭の連携がとれている
●子どもの悩みや困りを的確に捉えることが難しい
●子どもが安心して思いを話せる機会が少ない

○生活科や総合的な学習の時間において地域の人々との交流を楽しみにしている
子どもや保護者が多い

●学校は、交流している様子を HP やおたよりなどで地域・家庭に伝えきれていない

以上のことから、
♡コミュニティをつなげる働きかけを行う
♡子どもたちの置かれている社会背景を理解していく
このことは、子どもたちの安全・安心な風土の醸成にも関わるものであるため、学校・家庭・地域の連携において同じ目標に向かえるような手立てを行っていきたいと考える